

会社	会社名	四国旅客鉄道株式会社		
概要	従業員数	2,507 人	業種	鉄道輸送業

1. ねらい

メリハリをつけたより効率的な働き方を推進し、生産性を向上させることで、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進を図り、心身両面における健康増進やワークライフバランス（仕事と家庭の両立）を実現することにより、男性も女性も、年配社員も若手社員も、社員もエキスパート社員も契約社員も、活き活きと働ける職場環境を作っていく。

2. 施策内容

- ・ 部下社員等へ割り当てる業務量や業務内容等を見直し、部下社員等各人の長時間労働の抑制に努めることとする。
- ・ 年次有給休暇の取得促進に努めることとし、取得率が自箇所の平均で 70%、社員等各人では 50%を下回らないようにする。また毎月の経営会議において取得状況を報告している。
- ・ ノー残業デー（毎週水・金曜日）における本社社員等の 19 時以降の残業を原則として禁止する。
 なお、本社社員等は、ノー残業デーの 19 時以降に残業する必要がある場合は、事前に「残業許可願」に記入の上で箇所長の許可を得なければならない。
- ・ 始業後 5 分間を朝礼タイム、終業 30 分前からを終礼タイムとし、朝礼では上司からは部下社員へ具体的な仕事の指示を行い、部下社員からは当日の業務内容、費やす目安時間を報告させる。終礼では部下社員から業務の進捗状況を報告させ、必要により時間外労働を指示する。
- ・ 会議等の実施にあたっては、資料の事前配付や参加者の絞り込みを行うとともに、事前に終了時刻を宣言することで、参加者の「限られた時間でやりきる」という意識改革につなげる。

3. 取組実績・効果

- ・ 年次有給休暇取得率 平成 27 年度 社員一人あたり 15.9 日/年（前年度 16.0 日/年）
- ・ 年間時間外労働実績 平成 27 年度 社員一人あたり 163.7 時間（前年度 155.7 時間）
- ・ 本社の管理職を対象にタイムマネジメント研修を実施し、仕事の取り組み方を見直すいいきっかけになったとの声が多くあった。